



古都っ子だより

2021年5月18日号
岡山市立古都小学校

＜心豊かにたくましく生きる児童の育成＞ 元気な子 やさしい子 考える子

子ども達の笑顔に元気づけられています

暖かい日が続く、木々の緑も鮮やかになってきました。この1か月を振り返ると、つい「今年の今頃は、臨時休業中だったなあ」と1年前のことを思い出します。

そして今また、新型コロナウイルス感染症の拡大が急加速し、岡山市ではゴールデンウィーク明けの1週間で657人の新規感染者が確認されています。そのため、岡山県には16日から31日まで緊急事態宣言が発令され、本校でも、5月の参観日を中止し、23日に予定していた運動会も秋に延期することにしました。

そんな中、子どもたちは大変元気です。朝、登校指導に出ていると、子供たちの「おはようございます」の声で、気持ちの良い一日がスタートします。満面の笑みで元気よく挨拶する子、挨拶と同時にじゃんけんをする子、登校中にあった面白い出来事を教えてくれる子などさまざまです。

長いトンネルの出口は、まだまだ見えてこない状況ですが、子どもたちの笑顔に元気づけられる毎日です。コロナ禍で、今何ができるかをしっかり考え、教職員で知恵を絞りながら教育活動を行っていきたいと思いますので、今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。



～ 校内風景…こんなことがありました ～

【4/14 青パト見守り隊 対面式】

4月14日、登下校の見守り等で、子どもたちの安全に気を配ってくださっている青パト見守り隊のみなさんとの対面式がありました。

用水路や踏切、往来の多い道路…危険個所がいくつもありませんが安全に登校できているのは、青パト隊やPTAの皆様の多くの見守りがあればこそだと思います。

新しく班長や副班長になった子どもたちも、歩幅の小さい1年生の速さに合わせて歩いたり、低学年の子を気遣いながら声をかけたりして頑張っています。

令和3年岡山県交通安全年間スローガンの1つに、「手をあげて じぶんでまもろう いのちのあいず」があります。たったひとつの大切な命を守るために、青パト隊の方がいらっしやらない時でも気をつけられるように、学校でも指導していきたいと思っています。



【4/22 3年総合「ぶどうの里」】

今年も、3年生は総合学習の時間にぶどう作りに取り組んでいます。

この日は、地域の岡田さん・西崎さんに、ぶどうの品種や1年間のスケジュール、一箇所が多すぎる芽を欠いていく芽欠き作業について優しく教えていただきました。

「3年生になったら挑戦できる」と楽しみにしていたのは丁寧に接して下さるお二人のお人柄があつてのことなのでしょう。子ども達は、ぶどうを食べることを今から心待ちにしています。



【4/20 5年 海の学校】

4月20日、子どもたちが楽しみにしていた海の学校です。コロナ感染症防止のため日帰りでの実施となりましたが、快晴のもと、カッター訓練と砂の芸術は予定通り行うことができました。



カッター訓練では、例年「よーいしょ」と大きな声を出してオールを漕ぎますが、今年は飛沫対策のため、静かにオールを漕いでいきます。初めは悪戦苦闘していた子どもたちでしたが、最後にはぴったり息を合わせてカッターはグイグイ進んでいきました。

昼食の後は砂の芸術。事前にグループで相談しておいたアイデアをもとに、砂や海草などを使って大きな作品を仕上げていきます。素晴らしい作品になるよう、みんな一生懸命に作っていました。



どちらの活動でも、力を合わせて頑張る古都っ子の姿が見られました。

【新しい職員の紹介】

右の写真は、4月28日から外国語指導助手（ALT）として着任したデュベ・グラッドモア先生です。デュベ先生は他の小学校との兼務なので、古都小学校に来られるのは毎週水曜日になります。



どうぞよろしくお願ひいたします。デュベ・グラッドモア先生